

はじめに

平成 23 年 3 月 11 日 14 時 46 分頃、三陸沖を震源とするマグニチュード 9.0 の大地震が発生し、これに伴う大津波により、県内では沿岸部を中心に、多くの尊い命が失われ、行方不明者も多数にのぼり、甚大な被害が発生しました。

発災直後から、通信網や交通網の断絶やライフラインの停止により、情報収集が困難を極める中、県はもとより、市町村や自衛隊等の関係機関が相互に協力・連携し、また全国や海外からの暖かい支援を受けながら、避難者支援活動を行いました。

この記録集は、県が市町村向けに作成する「市町村避難所運営マニュアル作成モデル」の参考とするとともに、東日本大震災津波の記憶を風化させることなく、県及び市町村における今後の防災対策（避難所運営、避難者支援活動等）の参考とするため、作成したものです。

作成にあたっては、避難所や在宅での避難者支援活動に携わった、県関係部局、出先機関、市町村及び関係機関から、被災直後の避難者支援において、何があったか・どう対応したか、苦労したこと・学んだこと、教訓等をどう生かすか・どんな取組が必要か、について生の声をいただきました。

この記録集が、今後の防災対策の一助となれば幸いです。

平成 26 年 1 月
岩手県保健福祉部